

新たな京地どり作出に向けた取り組み

京都府のブランド畜産物「京地どり」は、横斑プリマスロックの雌に、名古屋種の雄を掛けて生まれた雌に、シャモの雄を掛けた 3 元交雑種ですが、このうち、名古屋種は、閉鎖育種による脚弱等で健全な種の供給が難しい状況であることから、新たな京地どり作出に向けた取り組みが求められています。

当センターでは、雄候補として家畜改良センターより推薦のあった新系統「龍^{たつ}軍^{しやも}鶏^{ごろう}ごろう」の評価を行うため第 1 回目の肥育試験終了後、7 月 4 日に、綾部市豊里コミュニティーセンターで、生産農家、食鳥処理業者、家畜改良センターとで、肉質・食味調査を行いました。

生産農家からは、「肉量は多く味も良い」との評価があり、「龍^{たつ}軍^{しやも}鶏^{ごろう}ごろう」を含めた 3 鶏種から新たな京地どりを作出することを出席者一同で確認し、この冬から順次選抜のための肥育試験を進めます。



肉色、肉量等と調理後風味や歯ごたえ等を確認しました